



# キラリ、AKB

たかはなだいらしょうがっこうこうちょう いさらいせいいち  
高花平小学校校長 小井誠一

「会いに行けるアイドル」をコンセプトに、  
2005年に誕生したAKB48。

紅白歌合戦や毎日のテレビなどで大活躍、  
今や国民的アイドルとなりました。おとなり  
名古屋・栄を中心としたSKE48をはじめ、  
ジャカルタ（JKT）や上海（SNH）  
など、多くの姉妹ユニットも生み、世界中へ  
飛び出しました。

でも、彼女たちも、初めからこんな売れっ  
子だったわけではありません。初期メンバー  
で「不動のセンター」だった あっちゃん  
（前田敦子さん）も、どこにでもいる中学生  
でした。むしろ目立たない子だったと、本人  
も言っています。

毎日一生懸命に練習していたのに、最初  
の公演に来てくれたお客さんは、たった7  
人。心折れそうになったことでしょう。そ  
れでも、彼女たちは、「きっといつか…」と夢  
に向かって、ぶれずに、ただひたすらに続け  
てきたのです、汗と涙を流しながら…。そ  
の姿がファンの共感をよび、今では、「大き  
くなったら、AKBみたいになりたい！」と、  
子どもたちのあこがれとなりました。

AKBのみなさんからは、『ひとつのことを  
続ける』大切さを感じます。

ただ、実際に、本物のステージに立ってス  
ポットライトが当たるのは、ごくわずかな人  
だけかもしれません。でも、私はいつも、「ど  
の子（人）も、必ずキラリと光るものを持っ  
ているんだよ」と言ってきました。

勉強ができる子、足の速い子、絵が上手な  
子、ピアノがうまい子など、『目に見える  
部分』で光る子もいます。

一方、こつこつとそうじに取り組む子、人

が思いつかないアイデアを生み出す子、お  
年寄りにやさしい子、泣いている子にそっと  
声をかけてくれる子など、『連絡表には表  
れない面』でキラリと光る子もいます。

きっと必ず、みんなが、一人ひとりの『キ  
ラリ』を持っています。

ぜひ、それぞれの子（人）が、自分の『キラ  
リ』を見つけ、大切に持ち続けてほしいと思  
います。すると、いつの日か、

「ああ、あの人がいてくれて たすかるわあ」、  
「あの人がやったら、きっと…」

と頼りにされたり、あてにしてもらったりす  
るようになります。それは、人生という大切  
なステージであびる、信用・信頼・安心とい  
う目に見えないスポットライトなのです。

必ずだれでも、いつか花開く時は来ます。

その日を信じて、AKBのように努力し続  
けてほしいですね。

みなさんのキラリ輝く活躍を、心から楽  
しみにしています。

卒業 おめでとう。

～ 47年前の“落ちこぼれ 高花つ子”

〈昭和44年3月 卒業〉より～

…6年生卒業文集へ、こんなお話を書きました…

あした い たかはなだいらしょう こ  
**明日も行きたい高花平小（子ども）**  
しきい ひく たかはなだいらしょう ほごしゃ ちいき かた  
**敷居の低い高花平小（保護者・地域の方）**  
やりがい、 よろこ たかはなだいらしょう しょくいん  
**やりがい、喜びのある高花平小（職員）**  
にしよう!!と、スタッフみんなでがんばってき  
ましたが、いかがだったでしょうか。  
今年度も、何かとお世話になりました。  
来年度も どうぞよろしくお願ひいたします。  
～ 心から感謝!! ～

